

鳥労発基 0522 第1号

令和2年5月22日

関係団体の長 殿

鳥取労働局長

労働災害防止対策の徹底に向けたお願い

平素より、労働災害防止対策の推進にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、鳥取労働局では、平成30年度から令和4年度までを期間とする第13次労働災害防止推進計画を策定し、死亡災害の撲滅と休業災害の減少を目的として、労働災害防止対策を推進しているところです。

鳥取県内における令和2年の労働災害発生状況につきまして、休業4日以上死傷者数(速報)が151人となり、前年同期に比べ36%の大幅な増加となっています。(令和2年労働災害発生状況(速報))

また、死亡者数も5月21日現在(速報値)で3人となっており、過去5年間の同時期の比較で最も多くなっています。

このような状況から、鳥取労働局におきまして、各事業場における自主的な安全衛生活動が推進され、労働災害防止対策の徹底が図られることを目的として、県内の労働災害の現状を別添のリーフレットにとりまとめました。

つきましては、ご多忙のところ恐縮ですが、貴団体の会員等に対するリーフレットの周知にご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。

会員への配布等にご協力いただける場合、必要部数をお送りいたしますので、担当者にご連絡いただきますよう、併せてお願い申し上げます。

鳥取労働局労働基準部健康安全課

担当 市村、平井

〒 680-8522

鳥取市富安2丁目89-9

TEL 0857-29-1704

Fax 0857-23-2423



令和2年労働災害発生状況(速報)

令和2年4月末現在集計 鳥取労働局

業種別	合計				鳥取署				米子署				倉吉署						
	令和2年		令和元年		令和2年		令和元年		令和2年		令和元年		令和2年		令和元年		増減		増減率(%)
	死傷者数	死傷者数	死傷者数	死傷者数	死傷者数	死傷者数	死傷者数	死傷者数	死傷者数	死傷者数	死傷者数	死傷者数	死傷者数	死傷者数	死傷者数	死傷者数	死傷者数	死傷者数	
全産業	(2) 151	(1) 111	40	36.0	(1) 50	36	14	38.9	(1) 77	48	29	60.4	(1) 27	3	-3	-11.1			
製造業	31	27	4	14.8	9	6	3	50.0	17	18	-1	-5.6	5	3	2	66.7			
木材・木製品・家具装備品製造業	5	5	0	0.0	1	3	-2	-66.7	4	2	2	100.0	0	0	0				
鉄鋼・金属製品製造業	1	0	1	*	1	0	1	*	0	0	0		0	0	0				
機械器具製造業	6	0	6	*	2	0	2	*	2	0	2	*	2	0	2	*			
食料品製造業	9	13	-4	-30.8	1	0	1	*	7	10	-3	-30.0	1	3	-2	-66.7			
上記以外の製造業	10	9	1	11.1	4	3	1	33.3	4	6	-2	-33.3	2	0	2	*			
建設業	(1) 22	21	1	4.8	(1) 5	7	-2	-28.6	14	4	10	250.0	3	10	-7	-70.0			
土木工事業	(1) 8	6	2	33.3	(1) 2	3	-1	-33.3	6	0	6	*	0	3	-3	-100.0			
建築工事業	12	13	-1	-7.7	3	3	0	0.0	6	3	3	100.0	3	7	-4	-57.1			
木造家屋建築工事業	6	2	4	200.0	1	0	1	*	4	1	3	300.0	1	1	0	0.0			
その他の建築工事業	6	11	-5	-45.5	2	3	-1	-33.3	2	2	0	0.0	2	6	-4	-66.7			
その他の建設業	2	2	0	0.0	0	1	-1	-100.0	2	2	1	100.0	0	0	0				
運送業	14	20	-6	-30.0	6	6	0	0.0	8	9	-1	-11.1	0	5	-5	-100.0			
道路貨物運送業	14	15	-1	-6.7	6	4	2	50.0	8	6	2	33.3	0	5	-5	-100.0			
その他の運輸交通業	0	5	-5	-100.0	0	2	-2	-100.0	0	3	-3	-100.0	0	0	0				
林業	(1) 15	4	11	275.0	10	3	7	233.3	(1) 4	0	4	*	1	1	0	0.0			
その他の事業	69	(1) 39	30	76.9	20	14	6	42.9	34	17	17	100.0	15	(1) 8	7	87.5			
卸・小売業	16	15	1	6.7	4	5	-1	-20.0	9	9	0	0.0	3	1	2	200.0			
飲食店	4	2	2	100.0	2	2	0	0.0	1	0	1	*	1	0	1	*			
清掃業・ビルメンテナンス業	6	5	1	20.0	1	1	0	0.0	5	2	3	150.0	0	2	-2	-100.0			
旅館・ホテル業	2	1	1	100.0	0	0	0		1	1	0	0.0	1	0	1	*			
保健衛生業	18	6	12	200.0	4	2	2	100.0	6	3	3	100.0	8	1	7	700.0			
通信業・金融業等	6	3	3	100.0	2	2	0	0.0	4	1	3	300.0	0	0	0				
上記以外の他の事業	17	(1) 7	10	142.9	7	2	5	250.0	8	1	7	700.0	2	(1) 4	-2	-50.0			

(注) () 内は死亡者数で内数である。労働基準監督署で受理した休業4日以上労働者死傷届報告書を取りまとめたもの。機械器具製造業、一般機械器具製造業、電気機械器具製造業、輸送機械等製造業の合計である。

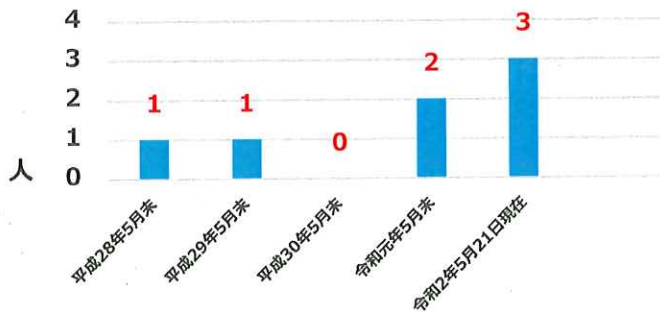
安全衛生のメッセージ

エイジフレンドリー職場へ！ みんなで改善 リスクの低減 (令和2年度全国安全週間)

鳥取県内の労働災害 大幅に増加

死亡災害

鳥取県内における各年5月現在（速報値）の労働災害による死亡者数



令和2年の鳥取県内の労働災害による**死亡者数**は5月21日現在、3人（速報値）で、**過去5年間では最も多くな**っています。

- 【令和2年発生死亡災害】
- 建設業 2月発生 重機が転落
 - 林業 4月発生 伐木作業
 - 建設業 5月発生 交通事故

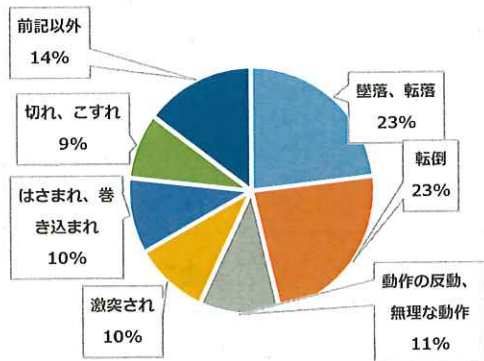
休業災害

令和2年の鳥取県内の休業4日以上の労働災害による被災者数は4月末現在、151人（速報値）となっており、前年同期に比べ、**40人（36%）の大幅増加**となっています。

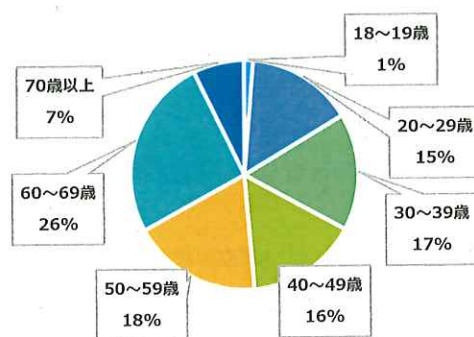
転倒災害35人（前年比**29.6%増加**）、**墜落・転落災害**35人（前年比**25%増加**）と、この2つで全体の46.4%を占めています。

年齢別では、**60歳以上が33%**を占めています。

事故の型別労働災害発生状況
(鳥取県内 令和2年4月末現在)

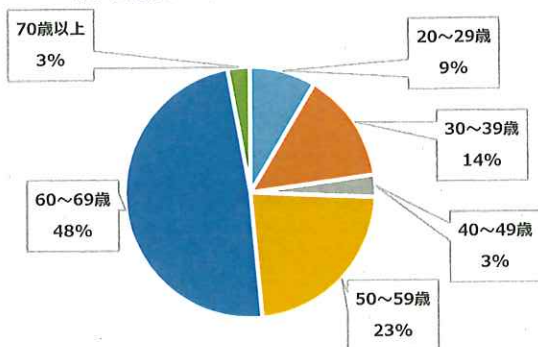


年齢別労働災害発生状況
(鳥取県内 令和2年4月末現在)

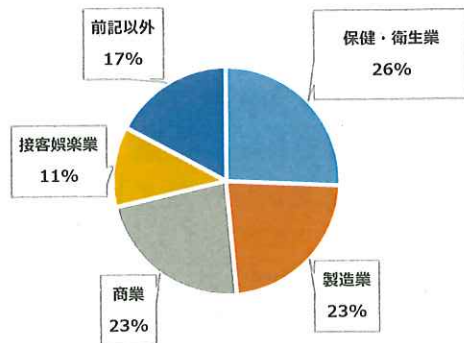


転倒災害は、**60歳以上の労働者が半数**を占めており、保健・衛生業、製造業、商業などで多く発生しています。

転倒災害 年齢別発生状況
(鳥取県内 令和2年4月末現在)



転倒災害 業種別発生状況
(鳥取県内 令和2年4月末現在)

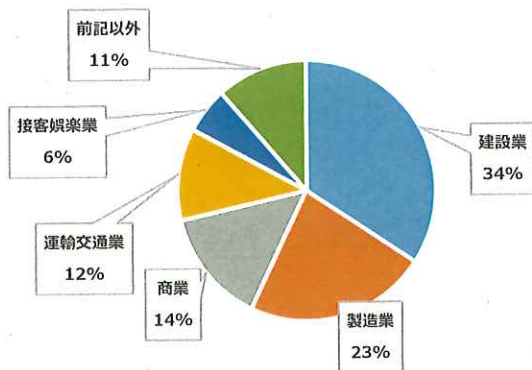


転倒災害事例

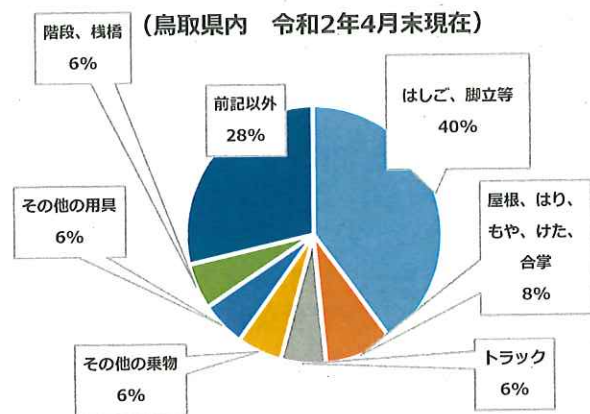
業種	発生状況	年齢	休業見込日数
製造業	床に配線されている電線につまづいて転倒した。	30歳台	5日
製造業	モップで拭いた後で床が濡れており、滑って転倒した。	60歳台	2か月
商業	足元にあったシュレッダーのコードにつまづいて転倒した。	60歳台	2か月
商業	タイヤ交換中、ピットの出っ張りにつまづいて転倒した。	30歳台	4日
保健衛生業	駐車場を歩いているとき、地面が凍結していたため転倒した。	60歳台	2か月

墜落・転落災害は、建設業のほか、製造業、商業、運輸交通業などでも多く発生しており、**はしごや脚立などからの転落が全体の40%**を占めています。

墜落・転落災害 業種別発生状況
(鳥取県内 令和2年4月末現在)



墜落・転落災害 起因物別発生状況
(鳥取県内 令和2年4月末現在)



墜落・転落災害事例

業種	発生状況	年齢	休業見込日数
製造業	コンテナにはしごを掛けて上り、下に降りようとしたとき、 はしごの底部が滑り 、はしごの上部がコンテナから外れたため、 約2mの高さから転落した。	60歳台	2か月
建設業	木造家屋の屋根葺替工事において、瓦の水分が影響して 足が滑り 、 足場の隙間から約4.5m下に墜落した。	30歳台	3か月
運輸交通業	トラックの荷台から荷卸し作業中、倒れてきた荷を避けようとしたところ 荷台から足を踏み外して転落した。	50歳台	3週
商業	台の上に低い脚立を乗せ、脚立に上がったところ、台の上が濡れており、 脚立が滑りバランスを崩して転落した。	40歳台	3週
保健衛生業	固定されていない椅子の上を上り、降りようとしたとき、 椅子が転倒して転落した。	50歳台	5日

県内で死亡災害が多発しています。また、転倒災害、墜落・転落災害は業種を問わず発生しています。安全衛生管理体制の確立、各作業における基本的な安全対策の徹底、リスクアセスメントの実施等により、労働災害の撲滅を図りましょう。

厚生労働省、鳥取労働局のホームページに、次の項目をはじめ各種リーフレットなど参考資料を掲載していますので、活用をお願いします。

- ・ **STOP! 転倒災害プロジェクト**
- ・ **はしごや脚立からの墜落・転落災害をなくしましょう!**
- ・ **エイジフレンドリーガイドライン (高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン)**
- ・ **事例でわかる職場のリスクアセスメント**